

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 曙ブレーキ山陽製造株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒710-1201 岡山県総社市久代1966-8	
本票作成	部署名：安全・環境事務局				
主たる業種	分類コード	31	業種名：輸送用機械器具製造業		
事業の概要	自動車用・産業機械のブレーキ製造		従業員数 570名		
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	吉備第一工場		岡山県総社市久代1966-8	
	②	吉備第二工場		岡山県総社市久代1920-3	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 22 年度)	(平成 27)年度排出量	目標年度(平成 27 年度)
	12,655 t CO ₂	10,431 t CO ₂	11,288 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 27)年度排出量
	①	吉備第一工場	5,821 t CO ₂
	②	吉備第二工場	4,610 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：平成 23 年度 ～ 平成 27 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(27)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	3.3 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 原単位指標 各工場の生産数合算値 吉備第一工場 BA生産数 吉備第二工場 WC生産数	原単位当たり排出量		
		基準年度	(27)年度	目標年度
		1.1864 kg CO ₂ /(個)	1.1471 kgCO ₂ /(個)	1.1271 kgCO ₂ /(個)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 27 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

- ・エネルギー管理標準に基づきエネルギー消費状況の監視・分析を行い出てきた問題点に対して計画立案～改善を実施することができた。
- ・計画分の工事、改善については実施することが出来たが、生産数量の減少、生産構成の大幅な変化に対応しきれずインフラ等の固定部分のエネルギー変動の対応が送れ、5ヵ年計画の最終目標を達成できなかった。

【推進体制】

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理体制のもと、エネルギー使用状況の監視・確認を行い月例の環境・省エネ委員会にて報告、その内容を委員会にて評価、対策検討を行うとともに更なる計画作成、進捗管理を実施している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(27年度実施分) 全 社	(27年度実施分)
吉備第一工場	<ul style="list-style-type: none"> ・（継続実施）小型電力測定装置の導入と測定改善の実施 (CO2削減実績 7件 10 t /年) ・（継続実施）接着炉・乾燥炉の断熱化 (CO2削減実績 154 t /年)
吉備第二工場	<ul style="list-style-type: none"> ・（継続実施）蛍光灯のLED化 (CO2削減実績 58 t /年) ・（継続実施）水銀灯のLED化 (CO2削減実績 18 t /年) ・（継続実施）油圧機器ポンプのインバータ化・省エネ回路導入 (CO2削減実績 9 t /年) ・コンプレッサー更新 (75KW⇒37KWへ) (CO2削減実績 16 t /年)
全 社	(今後実施予定分)
吉備第一工場	<ul style="list-style-type: none"> ・（継続）小型電力測定装置の導入と測定改善の実施 (CO2削減量 t /年) ・（継続）水銀灯、蛍光灯のLED化 (CO2削減量 10 t /年) ・（継続）接着炉・乾燥炉の断熱化 (CO2削減量 57 t /年) ・灯油ボイラーのLPG化 (CO2削減量 60 t /年)
吉備第二工場	<ul style="list-style-type: none"> ・（継続）油圧機器ポンプのインバータ化・省エネ回路導入 (CO2削減量 7 t /年)

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- ・県内の主な工場で報告していた「③総社工場」については平成26年8月に売却のため今年度報告より抹消します。
- ・冷暖房設備使用電力削減のため、クールビズ・ウォームビズを実施している。
- ・関連会社と省エネ改善案件・情報の共通化打ち合わせの実施（6回/年の実施）